

「2021年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」

「モノ(名品)部門」「コト部門」

それぞれ地方創生大賞を決定

—国内の10事業者・団体が集結し
地域に眠る名品、それを支えるストーリーを発掘する表彰制度—

<http://furusatomeihin.jp/>

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会(実行委員長:古田秘馬)は、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たなチャレンジを、より多くの人に知ってもらうことを目的とした表彰制度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について、地方創生担当大臣賞となる「地方創生大賞」2名品(入賞10名品から2名品選定)を決定しました。

7年目となる今年度の最終審査会では、増田寛也さん(日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長)、大西洋さん(株式会社羽田未来総合研究所代表取締役社長執行役員)、和田明日香さん(料理家・食育インストラクター)、山井梨沙さん(株式会社スノーピーク代表取締役社長)、古田秘馬実行委員長が出席し、審議致しました。

今年度の受賞名品は下記となります。

【地方創生大賞・モノ(名品)部門】

ユキノチカラ おうちで雪あかりセット

ユキノチカラプロジェクト協議会(岩手県西和賀町)



東北屈指の豪雪地である西和賀町の雪を、地域ブランド「ユキノチカラ」のスイーツと一緒に楽しめるギフトセット。LED キャンドルとバケツを同梱し、ご家庭で西和賀の冬の風物詩「雪あかり」が簡単に作れる工夫を施しています。冷たい雪に触れることで直感的に雪国の雰囲気を感じていただける「体験を贈る」ギフトです。

【地方創生大賞・コト部門】
イワシビル
株式会社下園薩男商店(鹿児島県阿久根市)



企業理念「今あるコトに一手間加え、それを誇り楽しみ人生を豊かにする」のもと、この地域の産品・特徴に一手間加えた商品やサービスを展開。観光地でも無いシャッター街に、都会や海外からイワシビルめがけて人が集まり、働きたいという若い人材も後を絶たない。

地方創生賞入賞名品

【モノ(名品)部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
株式会社Smolt	つきみいくら	宮崎県	宮崎市
農事組合法人ながいき集落営農組合	ながいきそば	千葉県	長生村
株式会社陽と人	明日 わたしは柿の木にのぼる	福島県	国見町
株式会社プラスワイズ	燕三条鉄アイス	新潟県	三条市

【コト部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
岐阜県飛騨市	人口減少先進地の挑戦！地域を超えて支え合う、「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ！」	岐阜県	飛騨市
株式会社デキタ	若狭熊川宿の地域ブランド「八百熊川」	福井県	若狭町
(株) SUGOMoRI	SUGOMoRIリゾート生野 高原	兵庫県	朝来市
SUGOMoRIリゾート生野高原 一般社団法人 前橋まちなか エージェンシー	前橋の「まちなか」からニッポンの地方を面白くする会社・MMA	群馬県	前橋市

■「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について

地域の中には日本全体ひいては海外にも通用する潜在力の高い名品やストーリーがたくさん眠る一方、域外の消費者は、こうした未開拓の資源の存在をほとんど知る機会がなく、また、地域の側もそのポテンシャルをどう伝えればいいのか、戸惑いがあるのが現状です。

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会では、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たな地域のチャレンジをさらに効果的に、より多くの人に知ってもらうべく、意思を同じくする民間企業が知恵と力を合わせて、地域に眠る名品と、その名品を支えるストーリーや取組を様々な角度から発掘してまいります。

<「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会>

実行委員長： 古田 秘馬

幹事社(3社)： J:COM株式会社、株式会社JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ

会員企業・団体(7社)：

株式会社インターローカルパートナーズ、紀尾井町戦略研究所株式会社、
株式会社さとふる、日本郵政株式会社、株式会社羽田未来総合研究所、
エコツツエリア協会、楽天グループ株式会社

後援： 内閣府、経済産業省

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2021 地方創生大賞、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取組が、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「モノ(名品)部門」「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生賞を5つずつ用意し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞とする。

応募条件：2021年12月頃までに、地域の特徴を生かした最近3年を目安に新たに販売・発表された名品を対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のないコト・モノであれば受賞可能と判断する予定です。

選考フロー：一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。

授賞内容：「モノ(名品)部門」「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生大賞1点と地方創生賞4点を授賞

【受賞者の権利】

① 受賞名品は、販促機会に「受賞ロゴ」を使用できます。

② 各事業者の特徴を生かした販促機会が(ECサイト無料掲載など)提供されます。(予定)

<報道関係の方のお問い合わせ先>
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局
大谷：070-1054-7835
佐竹：080-7631-3004
EMAIL: furusatomeihin@jtb.com
時間：月～金9:30-17:30(土日祝 休業)